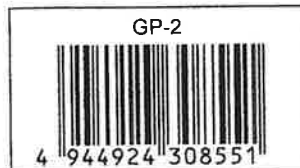


本商品は、フカヤ「DAVOS」のように「前フォーク側面にそれぞれ2つ以上のダボを持つ自転車」を対象としたアクセサリで、前フォーク側面に軽量だけどかさばるシュラフや丸めたマットなどを縛り付けて携行するための台座となるものです。

装着しやすく緩みにくい「フィックスプラス」バンドが2本付属しています。(フィックスプラスの具体的な使い方につきましては、供給元である株式会社フカヤにお問い合わせください)

本体は丈夫な1.6mm厚のスチールで、ステルスブラックの塗装仕上げとしています。



(ver.1.0 2024/9)



【装着状態の例】
(右サイド下面のライトは別売)

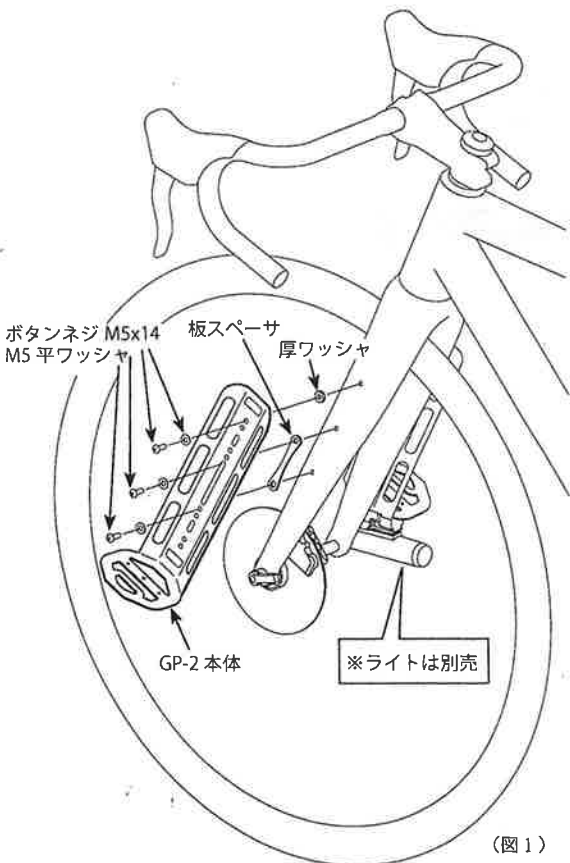
注意していただきたいこと

- 前フォーク側面にダボが1つしかない自転車には装着できません。必ず2つ以上が必要です。
- 2LのPETボトルなど重量物を搭載する目的のものではありません。重さに耐えかねて商品が変形してしまうおそれがあります。
- 前フォークに荷物を直接搭載することで、ハンドリングの癖が変わってきます。運転には注意してください。
- 台座部分が左右にエラを張る姿となるため、自転車の前フォーク幅が大きく広がってきています。狭い場所を通ったり障害物に接近する際には、本商品やそれに搭載したものを引っ掛けたりしないようご注意ください。またエッジなどで怪我をしないよう注意してください。
- GP-2本体は鉄製ですので、ぶつけたりして塗装を剥がしてしまうと下地が露出し、そこからサビが発生したり広がっていくことがあります。傷をつけてしまったら、できるだけ早いうちにタッチアップ塗料などで補修してください。

装着手順

使用する工具： 3ミリ六角レンチ

- 1 まずGP-2の位置決めます。GP-2の底板部分が前輪のクイックリリースもしくはスルーアクスルのレバーに当たってしまわない高さにします。レバーを回すこともあるので、その旋回範囲外にします。その位置が保てるようボタネジが前フォーク側面のダボ孔にGP-2本体の丸孔もしくは長孔を通してねじ込める場所を探します。
- 2 最初に、いちばん上のダボに、平ワッシャを通したボタネジでGP-2本体を仮止めします。このとき、GP-2本体と前フォークとの間には厚ワッシャを挟んでください。(次ページ図B参照)
- 3 次に2段めのダボにボルトを止めますが、このとき板スペーサを前フォークとの間に挟みます。板スペーサは丸孔の方を使います。(図A参照) ボルトを通すのが丸孔になるか長孔になるかは、前フォークのダボとGP-2の位置次第です。(図C参照)



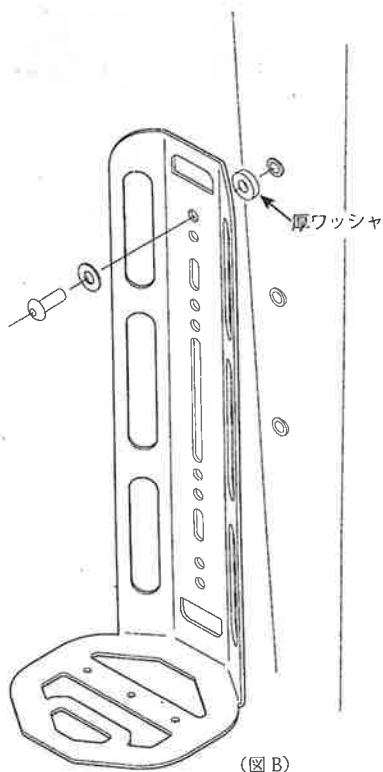
(図1)



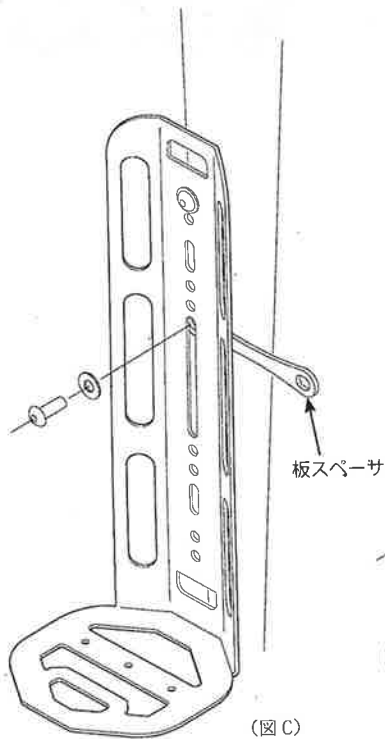
(図A)



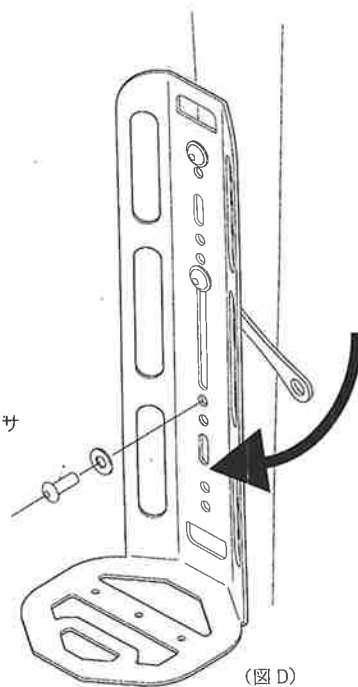
前フォークにダボが2つしかない場合は、最初の厚ワッシャは使わないで1つめと2つめのボタネジは板スペーサを挟んで取り付けます。板スペーサとダボとは孔ピッチは合うはずですが、もし合わなかったら、板スペーサは丸孔側だけを使い、残りはGP-2本体に重ねておきます。



(図 B)



(図 C)



(図 D)

4 続いて3段めのダボにボルトを止めます。
板スペーサを回して長孔とGP-2本体の孔とが合うようにして、そこにボタンネジを通します。
このときもボルトを通す孔が丸孔になるか長孔になるかはダボの位置次第です。(図D)

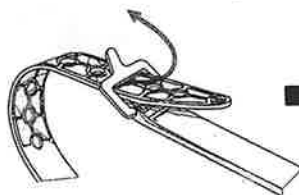
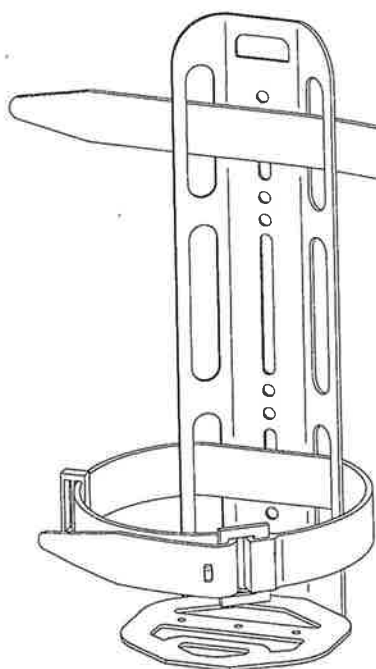
5 最後に3本のボタンネジをしっかりとねじ込んで止めます。



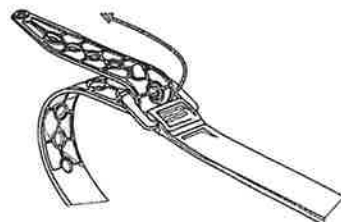
このときGP-2本体が若干反るかもしれませんが気にしないでください。

締め付けベルト (フィックスプラス) の使い方

本商品には搭載品を縛り付けておくためのベルト (フィックスプラス®) が2本付属しています。
簡単な操作でしっかりと固定できるので便利です。ぜひご利用ください。



荷物を縛ってから、ベルト先端を金具に通します。



折り返したベルトの孔を金具にある突起に引っ張りながら差し込むと、これで保持します。